1大 田西海1•00

		號	,		Ŧ				第						. - .s				報		-	日		,	鮮		<u>]</u>	朝				F	八	月六	(年]	<u>:</u> +ī	E大	-	(1	「認利	勿便!	郎種	三郊)		·)	<u></u>
こうは、田間田と、今十八人には「し	保里早可翻逐艦四隻さ急派が三号本省の打造が吹いの中 動行委員の撤廢の少いの 危險が故王日本人全部小漢口里撤退が少五第一外艦 隊司令官を佐世 計選中で日職邦政府を帰	長沙日本人全部撤退	- (漢口第第) 長辺号作の指置の豊かの プテリ 国際部の は記録する 一 (漢口第第) 長辺号作の指置の豊かの プテリ 国際部の は記録的 ダニール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	長沙事件抗議提出	→同地代理店や多數社群教の王包閣が习 交通の全然遮断习少叶可斗(上海十一多量) 「在了册手前可居。我竟清音當後。 急量 8 伊克	一 群衆、日清汽船代理店包置	九、資借者で對む保健費斗慰藉金甲要求	八、死者三對心慰藉金甲要求	一六、長沙埠頭量取上 五、日本海軍 3 湖南入市量永久 5 禁止 5	四、日本軍艦의武裝解除要求	求母五湖南政府小此寺處	一、日中間。條約廢止	七日諮問を申の依即日左	3年ユラ沙市で大倉を開発近學生排日外交図民大会	入議	正式二星通告对命父子可引	電放後調査性関連 国際交流派遣 き無明正明書記 米岡政府で 各國中島議章結果駐中公使呈前時二	委員無則延期通告	治外法權散廢調查	勃發王有也以外外人側可对心中國全土七十四化却司引五主服可之者	張天年中間々種の外人の三思印紫を與る州田七一方の豆長沙事件の一切外人を無常の豆園院們医そののまり川田ノ川の七才可名的の壁。	現者の十名号出むり土匪の所過處と全部燒液を置すめ入所 彼害者中野地方の本二個村の住所の所過處と全部燒液を置すめ入所 彼害者中野地方の本二個村の住所の 手腕の	也ケーキ:周寸中主でを上門当た及我を置す中浦房目答:「午的牧父上(上海信) 七座専作のの4解決与双头のませり 其後更可由東西府 ☆	二百名合補房	名 宣殺戮	山東濟南土匪暴行	おそ及の呼音の片 即大總統之内閣者無視音の音解職を外の他道才無一	會議의決議の依むら 大總統의調印の豆母山里全有物が川里主旨の反情第三年及第七項の財程を沿海力の豆母山里全有物が川里主旨の反	秦曆三頁支籍七頁可見是正大案外中 支出支票等官等任免各邊督以份赴本實各憲法第四十五條中規定可違反立者可可呼 國務會議規則第一	統存の送みの総統の調印を求めのイリ三日を終めた三調印되지の日の主義愕をり中同日閣議のは決議者 孫文斗税關監督官吏送命令者總	甲撒退斗省長馬龍潭免職コ通告号 又總統府町村國務院■送交司事七二 十四日附呈國務院可通告司号 意外甲状の ラ六月二日北京年代書祭署 Ⅱ	近年十二年十二年十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	1年12日20日では、マルト開放すた衛星で会社とには中央制度記念の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中	(比京六日黄色)今夜全國可發も張内閣總辭職通電可大要小如左丁丁丁丁丁丁一日)「各員」丁十、「八」「二十	TIT.		「京大子より午前では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本	新內閣總理及總長	此七夫人与力者藉即非黎巡統可猛烈可運動的可 預々可活躍却之所以 而	■異佩学氏顯維的代令推薦する日目下顔、王兩氏小 最可有力もおい。」力も可保定曹錕氏を 貧氏を推薦する日目下顔、王兩氏小 最可有力もおり。」力は可保定曹錕氏を 貧民を指薦。 5 法日前尹斐元氏を王氏を拝戻す。	「北京六日政治」(後機内閣を 顔思慶、土正廷、願判約三氏小最中有」(北京六日政治) 後機内閣を 顔思慶、土正廷、願判約三氏小最中有」	頭 E 顏 三 人 后 中 飛 濯	世界大学総統府の提出すららい 後の内閣の永定で放立しい辞表を総統府の提出すららい ほの内閣の永定で放立し	張總理以下閣員全部才六日夕日	悲 人、	國政局	
是全皇皇帝田屋八年日 表示太是 中国的林本公司工艺人的工作的人的作品的基本工艺 计算工工工具	動行委員の撤廢可の中の中では、 信が中佛國民や米國政府の制造計造中の日職邦政府や州の禁酒法 米國政府小必要も態度を執む。	・其也等西支對諸州至亦發出하라五。 让米國大戏者引制分動了可關法制行金廢此可五。并入五七七。例 依む今佛國を外船引酒類撒人(紅育電) 米國紐育州可科禁酒 (巴里五日發電) 半官的報	米縣禁酒廢止 一酒類禁止#佛國	中の中 兵側の七四十五名日死者外二百十名日後傷者是出外父母三台を用き工屋彈を投下的中數百名日『三吴正』人の致死하五『	吴ユヨスヨュ外」附近の村約一萬日『の스파リ小写天と銃剣及飛』(叶二灵二六日發館) 公報の依の日大干名月『エ吴ユ』と北部	口人。 与種突	内省三百餘	關、郵便及鐵道官吏及其家族◆放逐可以や母 其中のそ四歳是早日(作材が日姜竜) 五月日の仕事。上旬共長の本 三百万十四名。	伊耳邓乍叉龙衫	おり 三直 四月 デートラー 女 一名的解決登时の日中	議書開む後腹深さ定すり獨逸自惑加き求すり時間の関も時間題の(倫敦六日發電) 獨逸自新賠償提議者接受計時可聯合國心特別	聯合國特別會議開會	9日第3年8月2月1	【伯林六日漢館】 賠償支援の問題 新公文の對呼の『ユエ 内閣の	獨逸內閣及工業家協定	年出支機額を舉却工物館や決定対立日か以の可能や追後國際事門工業機関を舉却工物館を決定対立日か以の可能や追後國際事門	《伯林五日發電》 劉逸賠償支擔表章 包含並新公文を東超末々科 《伯林五日發電》 劉逸賠償支擔表章 包含並新公文を東週末々科	一雅遊新公文內名		欧米特	國内等統治可立事件を道理等能。 外官吏者助力対外引於事書のを治理対の日対是晋四中政府之。 みの国民を原面可하立不良的	一說之盛唱亦七報可當亦非抄國民 七中呈今後七國民可國事奉經對人一直言 外華人可中國共會 如此事之我國民司派認以中日	· 一一一	1: 1:	國務員會者組織並後暫時現狀者 カリスン音星器足対なれる中の日信用リスと人物を推舉する 後七北京政府北全國を統治な	二、統一合議成立以前を各界團體 理由の中関重可考慮といの引き残骸決重導 借数等者起から内観者助長対	民大會号組織可立統一會派号開 星と友形各國可未形當局中武	を発生事 のかきり	可靠链 齊裝元 馬聯中諸氏 對外宣言 今次臨城事件可跟 吳佩学 田中玉 熊炳琦 报号	○ 豆黎大總統以下各部總長4曹 おり場が中前記班名の實行者發生地方官吏の共同責任の監督 國同胞者學醒が可以政府者師	一、今回四院城が件や北京政府斗」、狀態の中上海國民大會七此際開発を立めるでは前でダイド用。の国情常國内の旅行の不能も	日子十二日三十三六日 一日子日日 子子丁子日 子子丁子田 坂子侍の野は国民大会を 納付から無用の軍隊を遂成せる 八日子田 子子田 子田 子子田 子田 子子田 子田 子田	(Light) たず中国を開始を開始を開始を開始を開始している。 総新以下免職主張		上海则乏大會央議	策者協議せけり日本件斗政行如何と 一般が注意せいいい	らた全まりを介置さて18を司引送り関小ドを急を後にるだけて日共責任を日本の叉寸の中排日熱を煽動がそり勢日外交大食勢日本という。 またい 東西 いっぷ なる 読みで	(上海丘) 是沙斯特·特特·普朗中國明中華高台灣 打日名 医咽底 緊急 會議 召集		で市で理る限りを決定を下されて、『登みタサエ中回遊』でユギザで、慶東五日發電)「胡漢氏氏小夫」「神観経図で五日午後出資すで降	孫胡兩人軋轢 (北京日後世) 最近であれる。	「大本答う置き五般線斗共制	ボ大元帥と各直六種の星名別在二日午後四時石龍の到着寺ませ	大本營移設	中月	通用す金國母發送並後母張總理之一的良長で引入了自己在了《北京六日發記》 内閣将継続者 小但戦士不利却不引引中の中、北京六日發記》 内閣将継続者 小但戦士不利却不引引中の事	展 聽 天 丰 發 向 腹外 男 鱼 甲 取 中 此 事 依 前 中 孫 交
차리트면 호등 연구대 당동입자한 원주의	合下 平霧國官法の州押留日の五銅鑼石を呈『今本町五年』神町村名臘の理由ま	新生 岩野山丸 * 五列二十一日 沿海田 * 岡 (小様電報) 日本蟹雑語製造船 道 * 日本 海 駅 打 留	正件(朝鮮總督府監察官を加替)す	す斗 官吏者滅者)及高等官俸給合中政の人 朝鮮總督府官制中政正件(總督府)	行機(東京電報)七日日本官報品相『ユーゲーカーピーオー	言制攻正公布	決定が立日下官制々定の連備中へ	一同の行政整理調査質量设置がリモーサーの見行政が整理が引工今回官民合	R (東京電報) 日本政府→根本的 [1] A [2] [3] [4	行政整理與會	甲最 党後發表 き司の引の引の発を強変表を司の引の引	及思者、醫師司母選定部昨各在確	移局の村間在中のモル現在三十名	4獨 (東京電報) 對中文化事業の關	調査委員銓衡	對中文七事從	7年 きの此七出徳別以後の天候不良む。不完 六萬六千四百五十石(六北)の減少	日三十五石の早前年の比が昨百十二年五	连紧张高(北海道州羽六縣新潟、艮·	(東京道報)日本十二年度後々	政府「原言が認る事	歴決 時七日本を正式の豆英斯科政 dana a a a a a a a a a a a a a a a a a	日本一、殿國の以上日各項者認可正正 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	有外一、関際競技履行問題の関が中で	e能 日本→兩國斗協商書意志가有 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	前項の関射が今日本や薩哈薩 賞けき承認ぎ事	がむ」、尼港問題の関が中で兩國を其で別を 認を引	「起一、日路四國間の平等概を此音承」と言う。情ではので	*主四十分門放守事が可引 一部立交渉共磯楽者作成も後零時 は	『我 六日午前十時早日極東委員會#開一	對露交涉 縣案	라 사	史旅	絶耳吹を極東 郵便均や五日の月(東京電報) 戦闘以来呈久可社		市市等の子打総可の中の中では、京ののでは、中では、京ののでは、日本のでは	中國大審院部決可對可以英國可如何	「一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	英暗答辯拒絕	可覚大り指慮がりそ希望が七歳三	· 西河須書配給する事の對する子米國一大國子米國の佛國船業組員者属する	上 関の九日関議の日本版をおりて佛太部的河類撒入取締合の関かの佛観の 世	到 (巴里六日發電) 米國界外國際 La 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	佛國對米通告	近 可從中可脫舶乘組員四間型罷業者
11 前別二日4分在後二日4十五日	四名の實行委員を各組合の 4推 一郎	1、縣談會可央議事項中三名乃至 選 事 一、常仕準備委員二十名→選定 東 末	一準備委員長副委員長の互選や他門決議が受ける	平氏等三十名の出席を後左斗如司高帝を自命書開可五添田博士平尾贊受	業同志會や六日精養軒の第一同準 ・	準備委員會	實業同志會	かめのみ 不可以が後午後四時の散台 言	を合いのでは、 を合いのでは、 では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	川佐を近りと称道以下トペリ版で了。 間帯「農台内の置がオミがダムロ モ製・スリーイ・コミオア・ダク 質	對外非意見を得可工事務所と當分質其何經費總費の可以	川、組織 道府縣可提政團體呈母 米	19 五國家產業司法礎母帶國刊	二、設立粵趣日斗目的 農村手振 (4)一、名稱 帝国農政協會	設立者可決が少い可引	の総約から新開催の設立者協議が成るのでは、これのようによっているのでは、	いと東南のリスの大学の「大学」の「大学」の「大学」の「大学」の「大学」の「大学」の「大学」の「	総理、大蔵、農商坊9各大臣9各政「中で一名式實行委員・選定せ後明七日」黄ウ	の散合がまたり36元各道府縣の村 慶声時休憩を宣言が立午後一時二十分 慶	励識がダモロ質職外額出党故里即全語を日本農會の提出で翻案の季での全部	は競技の脅所が後新開機組織の間 忠治を持ちている。	で長春にて上月中エ天英司登制章 した一大日午前十一時早可道府縣郡村 京郷一一プステ華、 一フラ 種が生まれ 遠	(東京電報) 日本全國農會大會 (1)	農政協會回	日本農會大會	内路省神社局第一課長 同	農商材省書記官 田島勝太郎 大平前福島縣知事 馬渡 俊雄	左司决定司史の中 (東京市三助役を如) (京市助役决定	おおり中の中 での中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の	一部書補給可引五四萬四千圓の豫(萬八)	Rai 是了长是商务省 4.比利族设备 五百时等可對可以調查研究甘者 9 獎勵	C皮地早經濟狀兒斗日本商品早販 九十9年生產及取引ヲ經驗ョミュ常業 ※5	戦後日本商品可販路号開拓する(8)今次(東京電報) 中國斗印度方面の	商品販路開始	近出が少けられ 一年級の限む件の指示事なもか。	(リテに) ドオドおイモブト。 9~(リテに) ドオドおイモブト。 9~	取締指示事項	新聞歌出版物	六頓以上三十順々ス ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	一、朝鮮線大貨物質銀表中京扱程 生資最低職數以上三十噸々才 大袍	教長仏場数四規定せ者常該積載 点温等が終入貨物質金法は車扱利	1日 東京中如可吹定替 木串7日 大手の対象を表現の変形を表現の変形を表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表	AX及界質4制の大化中で一つを 「溢洲鐵道株式合計朝鮮線4部特別をリカックでです。	「東京電報) 日本鉄道名〒4年	貨物取扱規定 一覧	《全部》沒收日25日日 一、
10000000000000000000000000000000000000	山 子只卖 三尺卖 三百卖 ~ 早時勢 上旬 中旬 下旬 ▲ 「	可特種品で龍山物の必変適用の「大型の気が全性の見全然関散程の」 エー・	比較的旅價品の平到可の僅可月~町回2因のの高價也朝鮮兄と此等	号見コダム中中旬以來期正米의 (2)中华上旬の各品の皆二、三十銭 (五)	豆─四月中旬以來可高價餘勢量─□●の名称「日本」日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本	医合体 计号 中旬 下旬	持可不拘可止益々强勢三時勢量。	足み日本側の買進エの相期米の 智の程米側の必能質、混紛約定物品 皆な	当時別した方と、片を見るから、 江戸の海豚の相俟のいは物の動のみになって、	日本下旬四片提絡の星月時中出一時產地附高の四、五十錢の星終。 第261年第一日	题念上投援的氣勢至軟勢差呈可 <u>四寸</u> 呈經過並申中旬m人 中時候變了前	と別代と三、四十遂の足、下押と、口役上ののを資物の相當の出現が「九十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八	E F	企独平商兄	司 八元二五 1,00八五		ルー・元子の日・一元、二六一名が北上・元・元三十二年、四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	府 一至二元 一至九六 大司	府 1、000、150 Unit 150 周校 化 1、150、255 Unit 150 次年 前主	的 1、一层、一层、一层、一层、一层、一层、一层、一层、一层、一层、一层、一层、一层、	関の「発量 売、「売水 ル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	就一些"CETATION"。	(二)大小婆本年道別豫想高 はな	(想局) 今至807至 1、207、至1 前月十二年 1、207、至1 前月	十一年 47.75.75至 17.75、15.15.16.16.17.17.17.17.17.17.17.17.17.17.17.17.17.	九年七三六八八〇二二三五六四 鬼母八年七二十八八〇二八〇二八四十八四八四四十八四十八四十八四十八四十八四十八四十八四十八四十八四十八四十八	比七年 七、七六、二元 一、九三、三六 一 イ 一 全 m	一次 大 麥 小 麥 一	想品	被高累年對照及道	少斗,八千八百三十八万即七分二厘半高。	日七十六石即六分六厘小麥十四 日豆蚁高可比的电大麥四十四萬九千 材米	一萬八千五百七十一石也日前年 砂糖/百三十七萬百七十一石也日前年 砂糖	하	「不良で以外」 一部号除引工と総可作 経済	※傷の被害小比較的幣少すタモデ里・北部斗兩西の春播地方の一部 資力	↑	五叉降雨9分配小良好すの今 栗	が共対象傷サ受む地方の不動三A ・ 配列も象像・ 要求・ 要求・ という		預察 『はは 65 小は行き三世万日の良好がダム十一月上旬の至遠書 家候小順観の9台2早初岁の硬化		7現年で東近千番塩党浄シ育りで引		医子子	合き旅館が平断の常をある。 (4の) (4の) (4の) (4の) (4の) (4の) (4の) (4の)	開東本部設合式 早期日其他決 綿絲
リ宝永フで	日朝敬王全北地方司 (錢二日南震氏(民大全北巡回委員)八 ▲第	『宮智』の役官・自奏九日とテトト日朝釜山上陸の中八日朝入京朝七十十八名や中國満洲舎視祭の라ユ七▲第	吐り獨逸大使『キュチ』博士一行「七十七行」	受版館の投稿が発みが八日夜後島を下分の元山の早早日人場が呼渡しま	X) 一行三名 ₹七日午前六時四七十元恩承氏(吉林省遊擊馬步大隊[a-五	人事消息		スユ大台の對対・講演の右が引が第二台議室の対治六回極東エ	午後三時半日 衛育協會主事	講演	-五銭のロイオ 調四人二十三周 安収	物二千五百八十噸車扱七千七 写上 四人降谷三萬三千五十七各小 ※	蓝糸	殖鐵營業成績 大	리아	(他亨明ミベー州長辺の決定をよる) 高直襲賞規程入場料用品種類等 三結。	整日の中倉長副台長洋流貨理 中二 富出品の別日及其他の五の中 十九	會同等年出品 4種類出品点数	(号爲始可呼殖商局各課長其他)新可!明日第一台部等 ● 西利雅寶 大阪		協養施設會議一谷	副業共進會 電影	中(朝銀調査)	(15) には、これは一切と及うトージのにない。 第一次の 一、四三三 千一次の 上の 三四十四十二十二次の 一次の 三二十二次の 一次の 一次の 一次の 一次の 一次の 一次の 一次の 一次の 一次の 一	、近山惣領八五、三四千圓・豆 不成。	終始하び入叶今組合銀行月末~11回収の傾か咋金融小繁日狀態四寸。	金の需要	14 44 17 17 18 18 18 18 18 18	旬 下	下押하立先物保合ヲ持續하게と与う資語の在荷ル適當なユ星五十一代事が	間軟化	11年11日 1500	かい特の人	九側八十錢 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	上旬 中旬 下旬 高與	サー	成少は4人帯を出変的を4年でした。 早間がみ中旬以降で需要が、質買点の早間以降で需要が、質買点	大声を過ずり 三百字	一百卒四二百卒四 年九日上 旬中 旬下 旬 敢不引	恢復者の不過かり、一枚派司のとして選行の不進が立る者人気数(なって)	- 1771に言い、「ここに、問題を発行する月末する先物二百六十圓 坂尾の	深耳	打頻洋 文高 颔	D. 强战 6.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4	1 (7	又三品等勢を下甲がき頃向を勢る不振斗海外引注文の稀淡が中海落り歩調を呈れる中級	6 米福時勢も月初斗の中旬
当时的话见证 代之对的零备的下口	ユニ節 - 阪地初付三十六圓五十 買買約二一節 - 阪地初付三十六圓五十 買買約	五錢以前止價斗同樣二星初付 中九側六十錢二星先限《三十圓 當 當限《不成》十中限《 馬	刊十 六	す五。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	九八、	과 야 共 四 .	呈二節八十錢と情電を作す五 出借場を大阪が付三十大関七十六 初付	(依然底强) 七	Manual Account Tanaman Account Tanaman	仁川切米	十线으로五十线の比の可引 一紙・サイバリニ十銭の付かいが 公	受けずと三十巻の上が見る 安備三十巻の川でのは、在前、そ三十九間、海僧三十九郎、	后,说了七十七十二人,一个一个一个四角通过,只有一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个	別三月一巻トン・発生した別 キーボルニーカロモーの外別八十銭舎行み さまずかにしての外別で乗ぶる りょ	ガミニル川コーボーニ+11 州治部四五十億8一大混戦者是が守 十銭各十四五十年8年	・11年(19年) - 11年(19年) - 11年後年三十九世七八十銭年(19年) - 11年3年三十九世七八十銭年(19年)	中,第二十七十二十二十二十八三十八三十八三十二十七十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	□】・竣工すり、京取「今週を三六節六架を依然可京取可集注等を除っる以下	《六天代】[7] 《《三十二六》 《) 《) 《) 《) 《) 《) 《) 《) 《) 《	一大波瀾の見止む中後揚一の見各門一一 とりまり	F 1741 13	とすりに くうしい とない とない とない とない とない とない とない とない とない とな	加田十組の山市的報告	ベチ後の見書方面上後の比当方は上班を収め、モース関東土銭寄付が呼▲第三十八段	可立 一十二十九四八十億二三時 共育九州 「千里子九四八十億二三時 共育九州 「十二十八十二十八十二十八十二十八十二十八十二十八十二十二十八十二十二十二十二十	1.11。1.11。1.11。1.11。1.11。1.11。1.11。1.1	龍八十銭斗一二十銭ニュ四五万刃返※ペ 七十九国五十銭 番付司▲第二	ガン 57 LUN 1 2 8 F 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	筒下折田食物等交也中寸対容」に、二・北村は野白井有田のユ買方、限そ二・分気値日中金塊筒市川道網料「▲第一	北京別用中文語中市川共鳴ウー・「戦の止するとは、手抜きそ夏」が1、200年の1、190年の190年の190年の190年の190年の190年の190年の190年の	と 間 可 介 の	上下が一方高	次別 と 銭り情楽週 と 銭り情	三五 ユニナ	六十選等 豆削上 年後場	X中日可せ及子を告せらり買いる星が1今後温軟兩派3 品「名々増大のり 近年9そ稲貴	今四万能返	《七月日前形勢至七仕手上 四十九段三十段以於四十一四十段 1 際三阪三	万頃は價の四十二國の十錢以及の五字での一時路の三昧路の三昧況の三年中限七字の「一個別」	横行の左右衝突が引便派を入行した。 野田三千枚渡が叶を聲の足 総合比。 不然のはない	孟烈赴資資料を移分配上祭り。ユエンヤサ・吉見定岡金鷹の高下間如何三不拘ちユー大阪	「下】」「中放戦 M モ空况ユニ ★村野 中 1 放戦 M モ空况ユニ ★ さけき 上は 6 足 酸 軟 災 カ の 1 対	入心耳及人中不得入氣之京的八二百九十一圓七十錢二里只	坂大新 8 七十九四三十段4 品場 京 収 惨 洛	京山市場	おいた。	報子振
미디어나 참가조(용	本別總収組高五、七七六、〇〇〇 文具雑貨 東門總石數 十六萬二十六百石 文具雑貨 東級布木	九二五百石	三十一圓十二錢	三十一四十級	定 匠 格	三十一世二十四錢	三十一日二十銭三十四九十銭	日後場(電話)	三十四七十七	===	三十川六十八 2 億 格	三十四六十銭	三十四六十	高低母差外二十七丁	八十一錢外刀在膽可吃傷 青	十段中限を七十段の八丁	正成なる房類の気みかれ	心底を 砂落を	印 反他比第六十九线。 反落可呼止可引	中一卷件目为天正发七十三一口鲁生,却立先限之人十錢一工程限之十錢井助之七十錢	1711年、後年として、第一版地五節七十六銭斗	七十九億々 オ戸押を後八三反落寺ユ先眼で九十銭	4.1 17.	を上げなる。 一般地の節が七十八段もの 一般地の節が七十八段も	**二段の内が腹があられず一段の内が腹があるい。	の始は日此際の阪地二節六の始は日此際の阪地二節六	灰寺立中限七六十五銭二呈 青蓮即 常限そ十銭二呈二十銭	此前初付可好 八錢으豆昨止價°比可型反	. 71° YO	丁六銭平高報を受かる	前場の至りい大阪初付が局七十銭ニュニるまか	教を接引立七十一銭二星齊サル阪地出僧六十九銭七十	□号接の五五十四錢の 不圓五十錢二豆二節亦	(川上) 登しに行い 川七十五段の始で後版 催日十大田七十五銭 10	『三十六刑当と五邊主や大阪初付の情報モ湿・一(有 名名光月)	(我然就)	差小二十一丁門は	高報を接り立むに五節六十二銭一品	先限《六十三錢》始聲今此五十五錢》以六十三錢。始聲今以八百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百百	管具により戻す気に対しました。	王銭一口皇先限を六十二銭 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	医地四節亦五十四	脱却或引小六十一钱可止 清九十六钱可始对呼六十五	五十五嶷《各一口专生命》《《四年》, 1985年, 1985年	文地三部立とは多さい	サトリドラドは	立常限4不成9叶中限。
분당식물하여가면서연속을하는용	養孫海成	郡以州邑	3 3 3 7	朝鮮日報忠州支局 京城	博文書社以及等者		予風災造扱資 謝不已ず			指	商李載三升	¥ Š		热	進中 尹 永 相 或抵當	十里10011	本人の		等池 應 月	十里九九九番地)	関 學 鳳	同一下往十里一〇二六番地		-	金文	同下注十些一〇〇九路地			金 性 庵	同 上往十里一〇〇七番地 和工	金銀業		元 曹 順	凡 上往十里五二三番地		-	- 1	同・上往十里六六〇番地 主 に			n 金 点 龍	风 上 往十里五六一番地		料日報	000 000000000 00000
	7	引光七円六一九番~ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	朝鮮旅館	尽城 鐵路	り立い行	今春以來宿舍せ一	上部各川成分之一の引三報答	検立 4受獲り召析機能の		館京城	1 1 2 2 1 1	向等普通學校生徒見學入京公		沈 貞 夫 白 雅可金面標岩里天拾二番地	七事の関うい	のヱリ勿論誰某の外を双質渡日中を絕對豆貨情或給與む事	7 土地外可金面附近 大地外可金面附近	1	北州面校県洞		信與洋靴儿	三七六番地 これの一番地の一番地の一番地の一番地の一番地の一番地の一番地の一番地の一番地の一番地		身	並明 養	5. 书面思口世子《文学年》		同勞會	邑		<u>.</u>	ř	* 也	忠州 巨大手町			侍天 教會	忠州向龍山出	木木木	雅公	東自	DU I	お話四〇	忠州邑大平町	000000000000000000000000000000000000000	一千	000000000000000000000000000000000000000

III

	<u> </u>	第		報	Ħ	鮮	朝		八月六年二十正大	(可認物與郵種)	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	会三百餘名中限麗者版千餘名七人 一百四十餘國の達命の大運即召を用 中京四十餘國の達命の大運即召を開 中於名中温豐校生徒百餘名中銅岩 十餘名中温豐校生徒百餘名中銅岩 中餘名中温豐校生徒百餘名中銅岩 中餘名中温豐校生徒百餘名中銅岩 中餘名中温豐校生徒百餘名中銅岩 中餘名中温豐校生徒百餘名中銅岩	大大学 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10		月山里人士의教育熟 (金觀學、金觀學、李根學四氏의 技、金觀學、金觀學、李根學四氏의 大 金	1十五日ペスキュ質助投稿と同月二十五日ペスキュ質助投幣は明確を一般合員立質助員の配付的預別で完全合基本金の見を出せいのは(銀海)	中山山馬野とはの中では投稿となるが、 一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一	和洞夜恐校內可相臨時總官专問司 世中 中 如 司 本 月 三 日 午 後 一 時 可 慶 南 昌 原 都 領 海 完 学 會 可 对 一 方 地 三 万 平 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	細別が母左記斗如イハ石八十八石八十八石八十八石八十八石八十三減が	七川穀物 在庫 七川穀物 格 (を受けず고夜4七長老夜合祭4州本 を受けず고夜4七長老夜合祭4州本 の登壇を引数白名の總統十歌迎を の登壇を引数白名の總統十歌迎を でではなり数白名の總統十歌迎を を取りているのでは、 ではなり、 ではなり、 ではなり、 ではないるのでは、 ではない。 ではないない。 ではないない。 ではないない。 ではないない。 ではないない。 ではないない。 ではないない。 ではなないなないなないない。	民立大學期成合黄州地方部外 下京城二里早日沿隣氏を表別成合黄州地方部外 下朝鮮民立大學期成合黄州地方部外 下朝鮮民立大學期成合黄州地方部外 下
川寺・成門商業会が開局旋業組合主催を開助 戲 大 運 動	《次解 命承穆 李敬祐 洪在 李敬英 李敬祐 洪在 李敬天 李敬祐 洪在 李敬天 李敬成 李在 李龙大 洪兢厚 尹敬 李龙 李敬 李在 李龙 李龙 李在	上	各面長見學日程	九十錢婦人十四人一個五十二錢一次一個人下各一人一個五十二錢一次一個一次學生一同三四金獎用各一個一次學生一同三四金獎用各一個一次學生一同三四金獎用各一個一次學生一同三四金獎用各一個人下各一次可以下各一次	是 不是 不是 的 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是	鄭昌根 金炳் 李基祚 李正 鄭在斗 鄭致祚 李良培 黃起龍 朱永培 李斗變 朴張錫元 金允龜各三圓 鄭在張錫元 金允龜各三圓 鄭在張錫元 金龙龜各三圓 鄭在	提 金永煥 朴善國 李東 思五圓 安斗贊 金炳勳 金 思五圓 安斗贊 金炳勳 金	は、「おし正別はような人名歌すらとという。」 丁球大会を開催するのでは現下後 中の一日間釜山埋鉄立地運動場のおりませい 朝的少年野球大会を本月二日早日 度終り 一大 村内 の 一大 日本	上 以	○四三呎七斗入五○俵▲小餐四 三九呎七斗入二三五俵▲綠豆四 甘湖 三九呎七斗入二三五俵▲綠豆四 甘湖 斗入一一〇呎大斗入一九俵七斗ッ△ 斗入一一一张▲大婆五斗入二六三呎 타生 入二一俵▲大婆五斗入二六三呎 타生 入二一俵▲大婆五斗入二六三呎 타生 入二一俵▲大婆五斗入二六三呎 타生 入二一俵▲大婆五斗入二六三呎 計量	
第三次 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	其 斗青白李月 一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	長 本中官中司呈録金 立改傳十の今論	と中無理句土地号移作みそ以そ一と中無理句土地号地主要重数 朴士胤 中澈然的 中澈休氏の外老寬言表彰が立特質質が少人可來質中申相休氏の熱語に別の中澈休氏の外老寬言表彰が立特質質が少人可來質中申相休氏の熱に可見が見なりませる。 中心 一旦高興小作用助會の 徹底進行中 と徐万翼に司倉下4倉議号進行中 と徐万翼に司倉下4倉議号進行中 と徐万翼に司倉下4倉議号に関する。	第二時月合人	前龍一条	在 催月例 守 世 七 計 版	変野や食館の何い七天可少七日勝否 申記本 三斗討論がひと中聴衆諸氏の拍手 園線 泉中高尚む語態豆母互相反對の 及丁山縣 泉中高尚む語態豆母互相反對の及丁山東 泉中 一句 とから とり これ 中部 東京 一句 とから とり これ 中部 一名 はいい という という はい かい という はい という はい かい という はい という はい かい という はい かい という はい かい という はい かい という はい という にい という はい はい という はい という はい という はい という はい はい はい にいい という はい という はい はい はい はい という はい	、花龍島、灌桑湖、 別海烈諸氏と 住庭立守成便の李夏榮、李載娜、李泰 鎖・ユーザルス言権サニリコ説明の せん菜サ英論い 風になり 小柄難り 分割熔諸氏の感想談の世界上如何せ 石芸経諸氏の感想談の世界上如何せ 石芸経諸氏の感想談の世界上如何せ 石芸経		一十十年 大田 一日 日本	光 3 花 跑 3 4 定 年
おい窓上の東京の歌身的の三努力を引出る。 一年の	省月世共日政	19年(後山) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	向不俊かや暴虐せ地の不俊かや暴虐せ地を有無過せ等を自用を作るとは、一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一	其 其	所名三十錢 李鍾區 企釋海 別 李靖秀 鄭泰德 中聖帕 別 朴米姓名二十錢 (清州、	上顯 洪淳轅 郭武鉉 宋载者 化一致 金龍春 黄春日 梁州成作大郎 義泰號 白洛淳 徐子 钱 金泰俊四十钱 金永雨子 钱 金泰俊四十钱 金永雨元 尹榮喆 金章玉 閔喆鎬 一一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	等奎 洪鍾翎 李鍾榮 一 松浦哲司 宋國 一 松浦哲司 宋國 一 松浦哲司 宋國 中 本 一	17	月日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	中野殿部の観光部の作を立る日出央範書の観光部の作業を中での一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学	等年合の月出席が李相無氏を全規を が、一部の のでは、 のでは
1. 書間催却立分長の別分別の出版的に表開催却立分長を憲水氏司台下は一時間推列立分長を憲水氏司台下は一時間が対象の関合が気みがより、	收入。新华丽期 三十三 (二川) 收入。新华丽期 三 智慧 三 (二川) 下安青年會臨	市收入 市中年 市收入 市中年 市中年 市 期 市中年 市 期 市中年 市 期 市中年 市 期 市 中年 市 期	人員。 「一年五月四二、八人員。 「一年五月四二、八人員。 「一年五月四二、八人員。 「一年五月四二、八人員。 「一年五月四二、八人員。 「一年五月四二、八人員。 「一年五月四二、八人員。 「一年五月四二、八人」 「一年五月四二、八人」 「一年五月四二、八人」 「一年五月四二、八人」 「一年五月四二、八人」 「一年五月四二、八人」 「一年五月四二、八人」 「一年五月四二、八人」 「一年五月四二、八人」 「一年五月四二、八人」 「一年五月四二、八人」 「一年五月四二、八人」 「一年五月四二、八人」 「一年五月四二、八人」 「一年五月四二、八人」 「一年五月四二、八人」 「一年五月二二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二	村 岘 驛 各月業積 村 岘 驛 各月業積	の4月 4/1円) 大十五馬で速度や一時間 放水量を五百瓦即十万列 製造ででは、武の4 5 中 製造ででは、大力の4 5 中 では、大力の4 5 中 では、大力の4 5 中 では、10 中 には、10 中 には 10 中 10 中 10 中 10 中 10 中 10 中 10 中 10 中	英地方志者三十餘人の立合も後次 大地方志者三十餘人の立合も後次 スキリ當日を中島府尹及平契資部 は一日到着のの三日午前十一時代 上一日到着のの三日午前十一時代 上一日到着のの三日午前十一時代 上一日 自轉事 明 筒購入	おおび は の は の は の は の は の は の は の は の は の は	以過格理 4件の中 に立大學期成會地方部組織する で質整理 4件の中 でで整理 4件の中 に必然である。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	の熱中がダム中間は 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の	中政党中中自民华永胜市政党中中自民华永胜市、福務地河麓、智斯公平位至,所以中三月一日中即新兴、馆商部民华景堡、社交、馆商部民华景堡、社交、馆商部民华景堡、社交、省大学、社会、市场、建筑、建筑、建筑、建筑、建筑、建筑、建筑、建筑、建筑、建筑、建筑、建筑、建筑、	月前定期総合の新年時建設中公私文牒司延知の政治、政策の政治、政策の政治、政策の政治、政策の政治、政策の政治、政策の政治、政策、政策、政策、政策、政策、政策、政策、政策、政策、政策、政策、政策、政策、
高 光 並 高 光 並	郡帝陽南富谷里 「我帝國南富谷里 「金里」 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	春	全南和順郡松石面品坪里 全南和順郡松石面品坪里 全南和順郡春陽面龍頭里 全南和順郡春陽面龍頭里 重	空南 光州	: : : : : : : :	京城屋	全南和順郡松石面江野里	同所	全南和船郡在陽區在於里 全南和船郡在陽區在於里 換	全南和順都登陽面月坪里。	视到
泳 多 身	1 1 1	那四面 周 教	唐 郊 焕 南和順那西面西台里	社全南支祉	勝億	座洋服店	振っている。	長 承 作 全南和順郡公南三黎公里 ————————————————————————————————————	南和順郡 東面 第一次	助 字 字	延
指宿 武 北原業 校立 東	神士孫 大 潤 一 二 一 二 一 二 一 二	電 対	「一 銀 同 行 回 初 行	蔵風禮	女山禮報E	職	土林 所 瀬 <u>鍾</u>	七龍	北一千前	金爾和服都系陽面次事出	拟
元 矣 熙	李麗盛州李温等	等那等 姜 大 計 一	郡(本) 中国 (中国) (中国) (中国) (中国) (中国) (中国) (中国)	市海陸產問屋 尹聖云市海陸產問屋 尹聖云	付別	中間 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種	京大市頃谷里 東	姚 默 &	龍山市魚物商	神 一	7
数 畯 寅 世 榮	中 深 淳 兹 欽 康 葉 翼 済 貞 済 默 哲 温 兹	1	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	· 如	- 			単二 黄 五 類 間	数 惠 告 昌 弘	山山流流	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
製造販買難貨商 張 浩 永學學生帽主產木前 張 浩 永	醫生崔 榮 健 一般。那邑內 一般。那邑內 一般。那邑內	性 持 金 龍 珠 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	題泉青年會長 職別郡光石面新堂里 一一南	論。	論山郡 計 新山郡 北 不 面 半 里 野		品	金明 (本) 明	論山郡城東岡本務所 員 一 同 『門進郡泉麿	尹變炳	新山郡 河南陽 朱三 姜 熙 第 日郡 川北 山 云 金 善 圭
松 質 元 美 信 下	金雄龍	韓保所知典與例子	重調世長者	予報 在	就寫駐在所	崔秉柱	房 房 房 房 房 房 房 房	·藥生 珠	之新日 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	新興洋靴店	張成允